

# ＝ 普 及 情 報 ＝

No. 10

平成31年 2月 7日

東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標 題	酒米の高品質・安定生産を目指して（第10回雲南酒米生産者振興大会）
-----	-----------------------------------

（ダイジェスト）

1月26日、雲南稲作推進協議会酒米生産部会は酒米の高品質・安定生産に向けた意識向上を図るため、生産者及び関係者約100名を参集し、第10回雲南酒米生産者振興大会を開催しました。

大会宣言では、生産者全員が栽培管理を徹底して更なる良質な酒米生産に取り組むとともに、生産者自らがPRを行って、さらなる日本酒の消費拡大に取り組むことを確認しました。

1月26日、雲南稲作推進協議会酒米生産部会は松江市玉湯町において、酒米生産者68名及び行政、酒造会社、JA等関係機関36名を参集し、第10回雲南酒米生産者振興大会を開催しました。

本大会は県内で酒米生産の8割を占める雲南圏域（雲南市、奥出雲町、飯南町）において、酒米の高品質・安定生産に向けて、生産から販売まで情報共有や良質な酒米に対する意識向上を図ることを目的に毎年開催されています。

本年の大会では、JA全農 西隼太郎氏から米の品質向上に向けた肥料成分表示の比較方法について、また、同じくJA全農 小桜泰樹氏から土壌分析結果に基づいた雲南圏域の土づくりについて講演がありました。講演を聞いた生産者と関係機関は、効果の高い肥料の選び方や地域で不足している肥料成分についての理解を深めました。

また、大会宣言で、生産については関係機関と連携を図り、年々変化する気象状況に対応し、基本管理栽培を徹底すること、販売面では生産者全員が需要に応じた生産に努めることや、生産者自らが日本酒のPRを行って日本酒の消費拡大に努めることを確認しました。

普及部では生産者組織や関係機関と連携を図り、新品種の現地栽培試験や研修会などを通じて、雲南圏域の酒米の高品質・安定生産に向けて支援していきます。

